

令和元年度スタート

散布地区 コミュニティ・スクール

～地域とともにある学校～



2019年11月6日発行（散布全戸配布）

散布は昆布漁も終了、神社祭や学校文化祭が終わってひと段落という時期でしょうか。散布コミスクで今年度計画している「散布検定」を11月16日（土）に実施します。すでに全戸に問題集を配布しましたが、事前に学習会を開いてほしいという声がありましたので、「学習会」を行います。

●第1回「散布検定試験」 11月16日（土）10:00～11:00

会場：散布小中学校2階ホール ※参加無料です

●散布検定学習会 11月9日（土）13:00～

会場：散布小中学校2階ホール ※参加無料です
問題集をもとに説明し、ミニ試験を行います。

1時間ほどで学習しますので、ぜひ多くの参加をお願いします。新聞社も取材にきます。

牡蠣検定・酪農検定（厚岸町）、知床学士検定（羅臼町）、鎌倉検定、北海道学検定、沖縄歴史検定・・・など、その地方に関する検定を行い、より愛着をもってもらい、新しい発見のできる人材を育てる目的で行われています。

厚岸の牡蠣検定に挑戦し合格した方は「厚岸のいろいろなことがわかり、今まで以上に牡蠣で街を発展させようとしていることが分かった」と言っています。

散布検定試験に合格（50問中40問正解）したら「散布博士」の合格証をもらえます。ぜひ多くの受験者を期待しています。

散布小中学校の

大感謝祭

12月7日（土）

あさり島活動やPTA活動など、日ごろの地域の皆様のご協力に感謝する行事です。漁業協同組合女性部にも協力していただいて行う予定です。

【メニュー】

① タコザンギ②たらスパ③フィッシュバーガー④いちごあめ 予定

コミュニティースクールとしては「参加して盛り上げる」ことです。子どもたちの自主的な活動を大人が支えぜひ成功させましょう。

散布の「タラ」「タコ」は絶品です。これ以上ない食材を、中学生がさらに変身させます。ぜひご参加を！

校長から

先日、散布中学校の大寺先生が町の予算をいただき島根県の隠岐へ視察に行き、「隠岐島前高等学校魅力化プロジェクト」について学んできました。全国的に注目されているようです。

- 隠岐は浜中町と同じように過疎化が進んでいました。そこで、地域唯一の「隠岐島前高校」が廃校の危機に面した時、「学校の存続は地域の存続」と考え「魅力化プロジェクト」を開始しました。
 - 地域の魅力を調べ、まとめ、発信する活動です。それを地域が支えています。
 - 生徒数は89人（平成20年）から184人（平成29）と大きく飛躍し、「学びたい学校」、「通わせたい学校」、「活かしたい学校」に変貌しました。
 - 海士町の人口は2007人（2000年時の予測）➡2354人（2015年調査）と減るどころか町民が増えました。
 - 観光客は9329人（2008年）➡12202人（2015年）
 - 年間平均出生数は8人（2005年）➡18人（2015年）
 - 祭りで神輿を出せる集落の割合は36%（2006年）➡64%（2016年）
- 私は散布・浜中町も隠岐に負けない魅力があると思います。それを発信することで街の魅力再発見につながると考えています。

学校や地域が魅力的になる ➡ 地域に子どもが増え、若者が流入する ➡ 後継者や未来の担い手

増加 ➡ まちの文化が継承され産業が発展する ➡ 学校や地域が魅力的になる



先週、11月1日に札幌で行われた「海洋教育パイオニアスクール交流会」で、本校6年生の3名が、あさり島活動や散布の自然について発表してきました。立派でした。ユーチューブで様子を見ることができます。